

Radio On The Street
西谷文和



発行責任者：西谷文和
連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33
TEL 06-6170-4757
メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送
しています。今後も年に4回程度発行します。

2023.8.4
第17号

●ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索して
ください。YouTubeで聞けます。
チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせ
が来るので便利です。



手前が夢洲新駅、右がカジノ、左が万博予定地

**万博もカジノも中止せよ！
維新の責任は重大**

4月末に訪れると…

23年4月17日、大阪市民ネットワ
ークの藤永のぶ代さんと夢洲を取材
した。フロントに「ばんぱく」とひ
らがなで書かれた大型トラックがビ

ュンビュン通り過ぎていく。開催ま
でちょうど2年、せっせと山土で埋
め立てているのだ。万博をしなけれ
ば、ゴミの処分場である夢洲をその
まま使い続けられたのに。①税金で
山土を買って埋め立てている、②ゴ
ミや浚渫土の処分場を新たに作らね
ばならない。二重に税金の無駄遣い
である。大型トラックの合間をぬつ
て黒い高級ワンボックスカーが現場
に入る。「ゼネコン関係者と違う？
理め立て、地下鉄建設工事は儲かる
んやで。そやから業界の組織票は維
新に流れたんと違うか」。藤永さん
が指摘するように、大阪でなぜ維新
が強いのか？理由の1つは建設業界
の後押しがあるから、だろう。广大
な夢洲をせっせと埋め立てている現
場を見ながら「あと2年、ホンマに
間に合うのかな？」素朴な疑問が浮
かんだ。

「大阪更地万博」を上空から 撮影

7月18日（火）、3連休明けの猛

暑日にもう一度夢洲に行った。「あ
れ、トラックが少ないな」「ばんぱ
く」と書いたトラックが激減、その
代わりに「ゆめしま」とひらがなで
書かれた生コントラックが時折通り
過ぎていく。「あれは地下鉄工事で
で、駅舎を作るのに穴を掘ったので、
セメントで固めてるんやわ」と藤永
さん。上空写真を撮影。右側草が生
えているところがカジノ予定地で左
側、クレーンが林立しているのが万
博予定地。あと1年9ヶ月で開幕な
のにまだ更地。このまま無理やり開
催すれば「大阪・更地万博」（笑）
である。



「ゆめしま」と書いたトラックは走っていたが…



ようやく大手メディアも報道を始めた

なんと海外パビリオン申請ゼロ！

振り返ればこの3ヶ月でいろんな出来事が露呈した。①日本建設業協会の会長（清水建設）が、「このままでは万博は間に合わない」とコメント。②建設資材、人件費の高騰で入札が不調。表玄関、万博の顔になるべき日本館は随意契約になり、その分さらに建設費がかさむ事になった。ゼネコン関係者は「いくらお金をもらってもできないものではない

いい」と言い始めた。③あと2年を切っているのに外国のパビリオンの建設申請がゼロだった。これは外国政府がお金を出して、工夫を凝らしたパビリオンを建設する「タイプA」でのこと。中国やオランダ、ドイツなどが「万博を見限り始めた」と言える。慌てた政府は「金は日本が出してパビリオンを建てるから、あとで払ってくれ」と泣きついていて、あとで払ってくれなかったら、どうするのか？そもそも50カ国が参加するのか？④吉村、横山の大阪府知事・市長コンビが「もつと真剣に取り組んでくれ」と、5月に首相に泣きついた。「アベ、スガ政治だったらなー」と悔しがっているとのことだが、万博を誘致した責任は大阪維新にある。

すでに「延期モード」?

この日の夢洲現場取材で、私は確信した。「現場は1年延期を視野に入れて、工事している」。つまり基本インフラの夢洲新駅はそのまま工事を進めていくが、パビリオンやアクセス道路、埋め立てと地盤固めなどは、2025に間に合わない。ドバイ万博がコロナで1年遅れたので、これを理由に大阪も1年遅らせよう、という姑息な言い訳で乗り切ろうとしているのではないか。

シャトルバスとトラックで大渋滞

この他にもツツコミどころ満載だ。万博協会は入場者数を3000万人と見込んでいて、その半数を地下鉄、残りを大阪駅や新大阪駅からのシャトルバスで運ぶと言う。しかし夢洲へのアクセスは夢舞大橋と夢咲トンネルのみ。しかも期間中もトラックターミナルは稼働する。この計画通りに行けば大阪は常に大渋滞。JR弁天町駅くらいから夢洲までバス、バス、バス、トラック、バス…(苦笑)。着くのに2時間くらいかかるだろう。もしバスで行くのならトイレ付きのバスに乗らないと悲惨な事になる(苦笑)。さらに台風や大雨でトンネルが水没、または強風で橋が通行止めになれば来場者は夢洲に閉じ込められる。開催期間は4月から10月、酷暑で台風シーズンだ。そうなればおそらく熱中症で死者が出てしまうだろう。しかしこれは杞憂に終わる。隣のUSJでさえ年間来場者は1500万人である。しょぼいパビリオンで期間は半年、行きにくい夢洲で入場料7500円もする万博に、それほど客が来るとは思えない。

ガラガラなら大赤字

つまり①計画通りなら大渋滞と災害パニック②ガラガラの万博になれば大赤字、なのだ。あせった政府と維新は関西経済連合会傘下の企業に万博チケット20万枚を売りつけた。1社あたり約10億円の売り上げをトを買えというのだ。こんなことをやれば、大企業は下請け孫請けにチケットを押し付けるだろう。それだけでなく中小企業は青息吐息、下手したら「万博倒産」になってしまう。

今後もタブーなしで追及します

「お祭りやれば儲かるよ」「博打場ができれば大阪再生」。維新の主張がごとごとく崩れ去る時がくる。株の世界で「損切り」という言葉がある。今までかなりの金を突っ込んだから、株が上がるまでつぎ込んでしまう。結果、傷口が広がり続け破産する。夢洲開発もこれと一緒。万博もカジノも中止して、夢洲はゴミの処分場として活用。セーブした税金を、国民、府民の暮らしに回す。そのためには維新政治を終わらせる。次の総選挙で本物の野党共闘を実現させる。これしか「凋落の日本、大阪」を再生させる道はない。引き続きラジオで追求していくので、今後ともご愛聴願したい。

小出先生に聞く その11

ウクライナの原発が攻撃されれば…

爆破されると「死の灰」は？

—— 本日は7月4日ですが、英国のロイター通信によると、ウクライナのザポリージャ原発が危ない、とのこと。どちらかの軍が爆破するのではないかと、地雷が仕掛けられたらしい、ミサイル攻撃が…、などと報道されています。ズバリ聞きますが、この原発が爆破されると、飛び出る「死の灰」はどうなりますか？

小出 「何が起きても不思議ではない」と考えるしかないとします。



ロシアが占領している原発。ダム決壊で冷却は？

日本のみなさんはかなり記憶が薄れてこられたのかな、と私には見えるのですが、12年前に福島原発で大きな事故が起こりました。もしこの国の法令を守るのであれば、東北、関東の広大な地域を放射線管理区域に指定しなければならなかったのです。だから政府は「原子力緊急事態宣言」を発令し、日本の法令を反故にしたまま現在に至っています。この事故で放出された放射性物質、特にセシウム137が危険だと思えますが、福島事故では溶けた炉心の中にあつたセシウム137の2%しか大気中に出てきませんでした。ほとんどはまだ原子炉の中に留まっています。その2%の内、日本の国土に降り注いだのが約20%、ほとんどは太平洋に向かってくれたわけです。つまり東北・関東地方を放射線管理区域にしないといけないほどの汚染をさせたセシウム137は、全体のわずか0、4%だったのです。もしザポリージャ原発がミサイルで爆破されるような事態になれば、場合によっては100%出て来てしまうか

もしれない。そうなれば想像するのとさえ恐ろしい汚染が、ザポリージャ原発を中心に広大な地域に広がってしまうことになるでしょう。

ダムの水位が下がっている

—— カホフカダムが決壊して人造湖の水位が下がりました。原発は常に水で冷やし続けたいといけないので、たとえミサイルで破壊されなくても大ピンチに陥っているのではないですか？

小出 もちろんそうですが、ザポリージャ原発は100万キロワットの原子炉が6機あるヨーロッパ最大の原発なのですが、6機はすでに全部止まっているのです。自分で発熱することもないし、停止からかなり時間が経っているのです。「崩壊熱」も随分減ってきているので、私は冷却というに関しては、大きな困難は生じないだろうと思います。炉心から使用済み燃料を出してあると思いますので、冷却に関しては多

分問題はないだろうと思います。

原発の労働者が心配だ

—— それを聞いてちょっと安心しました。ただロシア軍がずっと占領しています。運転しているのはウクライナの作業員です。戦争状態の中で事故を起こさずに原発を運転するというのはかなりのストレス、重労働ではないでしょうか？

小出 大変だろうと思います。何もなくても原発は超危険物を内蔵している機械ですから、神経を使いながら運転をせざるを得ないものです。戦争状態の中で安全を確保しなければいけない。作業員たちの苦しみや疲れは、想像できないほどのものになつていでしょう。(その12に続く)

**出版しました！
ラジオの対談&万博ルポ**



大塚市長選 打ち負かす
北野幸子元大阪府会議員が、大塚市長選挙の舞台裏。
選挙結果 第一回万博案 分析
日本経済の未来 権限を確保にぶつた切る。
ジャーナリスト 憲法の権限 憲法 万博案 万博案 万博案
万博・カジノ会場の現状 ジャーナリスト 万博案 万博案

編 集 長 よ り

先日テレビで放送された、伝説の英ロックバンド「クイーン」のギタリスト、ブライアン・メイへのインタビューをご覧になった方も多かったのではないのでしょうか？このインタビューの中で、AI（人工知能）の進化について問われた彼は、「とても恐ろしいことで、人間にとって大切なのは、結果ではなくプロセスなのだ」と、シンプルに語りました。

私自身もまつわる昨今のニュースを見聞しながら、その脅威に怯えている側の人間ですから、この言葉は刺さりました。複雑な判断を伴う自動運転などは当たり前前、対話型AIでは、人が書いたように自然な研究論文を生成したり、裁判官の判決までも導けるといいます。さまざまな社会課題を解決できる技術である一方、インターネット上に秩序なくはぎ捨てられた過去の断片をもとに答えを出すわけですから、それが必ずしも今を、そしてこれから生きようとする人間にとって、有益な「結果」であるとは言い切れないでしょう。

そもそも人間は、「知能」以外に大切な「心」を持ちます。それこそが人間たる所以です。そうだとすれば、答えを探しながら、課題を互いに分かち合う中で、つながっていく過程こそ、生きることなのだと思うのです。合意形成をショートカットしてしまえば、行きつくところは、対立とその先には争いしかない。恥かしながら勉強不足の私は、この「路上のラジオ」を担当するようになって、「熟議民主主義」という言葉を初めて知りました。尊い考え方だと思います。

最大数や最大公約数が示す結果だけで世の中を形作るのが危険すぎることは、現政権に苦しめられ続ける小さき庶民には、身に染みていることでしょう。

今も、ウクライナはじめ紛争地では、高度に学習した人工知能が生み出した無人兵器が、残酷な殺戮を繰り返しています。今こそ人類は、人間らしい進化を遂げなければなりません。私もこのミニコラジオに携わりながら、考え続けたいと思います。(ディレクター・山本 索)

ウクライナ最新DVDをプレゼント

5月9日首都キーウ初日、午前5時半「ドーン、ドーン」という2回の爆発音で叩き起こされる。ロシアのミサイルをウクライナの防空システムで撃ち落とすのだった。ベッドから飛び起きてベランダから外を見回すも街は静か。戦争から1年3ヶ月、戦争が日常となり、人々は逃げず騒がず、淡々と生活している。虐殺の街ブチャとイルピンでの戦いを取材した後に、東部の拠点都市ハルキウへ。ロシア国境から20キロの村々は徹底的に破壊されていた。誰もいなくなった村でカメラを回していると、犬が数匹駆け寄ってきた。「あーフクシマと一緒にや」。12年前の双葉町や飯舘村を思い出した。戦争も原発も故郷を村ごと壊す。やはり現場取材は大事だ、と改めて実感。ハルキウ市内に戻る。ウー、ウー。空襲警報が鳴り響く。戦争が終わるのはいつになるのだろう。

このDVDをご希望の方は、
メール nishinishi@r3.dion.ne.jp
または
電話 06 (6170) 4757
まで連絡ください。後日郵送します。

編集後記

ネットTV「デモクラシータイムズ」で、維新不祥事&暴言ワースト10を発表したら、短期間ですごい数の視聴となった。その後万博のとんでもない失敗ぶりを述べれば、またまた多くの方にご覧いただくことに。「あー、ラジオで追及してきて良かった」と思うと同時に、スキャンダル連発、失敗続きのカジノと万博を終わらせるチャンスが来ていると感じる。4月とは全く違う、維新への逆風が吹き始めている。7月出版の「打倒維新へ。あきらめへん大阪」が広がってくればいいな。